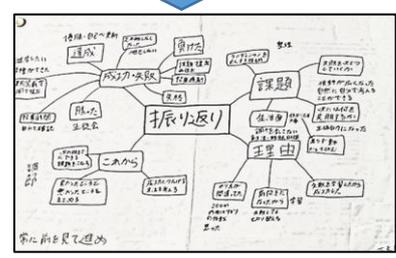


「なりたい自分」と振り返り活動を関連付け、活動の意義の理解を促す授業					
学校種	特別支援学校	学年	高等部2年	障がい種	聴覚障がい
対象の児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度口話でコミュニケーションをとることが可能で相手に応じた対応ができる。 ・情報の獲得については、本人にとっての必要性がないと難しい。 ・集中が持続しにくい。 ・整理整頓が苦手であるが、本人に困り感はない。 ・時間的、空間的に予測できる範囲が狭く、見通しや優先順位が決められない。 ・体を動かすことが好きであり、陸上部の活動に意欲的である。スポーツインストラクターになりたいという希望がある。 				
短期目標	行動や体験に基づいて獲得した自分の考えや感情を整理して、言語（音声・文字・手話）を用いてフィードバックできる（振り返りができる）。				
必要な項目の選定 (6区分27項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の動き (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行 ・コミュニケーション (6) 言語の形成と活用 ※ これらの内容を関連付けて設定した指導内容のもと、以下の指導を実施した。				
具体的な指導内容	好きなことや経験したことを通して、自分の考えや思いを言語化する。経験に結びついた言葉を用いて、行動や感情を振り返ったり、他者に伝えたりする。				
単元(題材)名	「なりたい自分になるために」		指導形態	集団／個別	
単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思い、将来なりたい姿を書いたり発言したりすることができる。 ・自分の行動や感情を振り返り、変容や成長した点について表現することができる。 ・自分の行動や感情を整理して振り返ったことの良さに気付くことができる。 				
単元(題材)の計画	いろいろな場面での対話を通して自分を振り返る ①好きなこと、苦手なことについて振り返る。 ②職場体験実習（スポーツジム）を振り返る。 ③振り返りを通して、今年度の成長と来年度の課題について考える。 ④振り返りの良さや意義について考える。				
指導の実際	<p>【職場体験実習の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、知識や考えの変化をワークシートの表に整理し、実習前後で比較した。 ・実習を経験し、将来なりたいスポーツインストラクターの姿を文章化し、発表した。 <p>【マインドマップ形式による情報の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなことや苦手なことを振り返り、自分の考えをマインドマップ形式で言語化し、整理した。自分の思考と行動を関連付け、マインドマップで俯瞰した。 ・複数のマインドマップを比較し、本人の過去と現在の自分の対比になっていることに気付けるようにした。成長のきっかけや過去の自分の思考について振り返ることができるような対話を行った。 				

※一部抜粋

自立活動ワークシート【職場体験実習前】	実習前	実習後
自分に向いているところは？	教えるところ 動きを知っているから若い人の気持ち分かる	誰かと一緒にやる仕事
自分に向いていないところは？	管理など 責任感のある仕事	一人でやる仕事 →そういうわけでもなかった
どんな仕事が好き(得意)？その理由は？	運動を教える仕事 運動が好きだから	運動を教える仕事 運動が好きだから 自分の知らないことを教えてもらって楽しかった
どんなスポーツインストラクターになりたい？	スポーツの楽しさを伝える できないとができるようになること	知識もあってお客さんを幸せにする 正しいアドバイスを伝える人



<本人に合った振り返り方の検討>

<生徒の変容、考察>

当初は、自分の行動を言語化して振り返る必要性を感じていなかったため、生徒が目指す姿をテーマに活動を設定したところ、学習の意義を感じられるようになった。教師と対話を通して振り返りを積み重ねたことで、生徒は言語化して振り返る必要性に気付くことができた。生徒が思考を整理しやすい振り返り方に改善したことで、生徒の「好きなことだけでなく、日常生活においても目的や見通しをもって行動することが大切である。」という気付きにつながったと考える。